



倉林 真砂斗氏
城西国際大学 学長

東京大学大学院で考古学を専攻。東京大学、金沢大学の助手を経て、1992年に開学した城西国際大学に専任講師として着任。教務部長や観光学部長、副学長などを経て2024年4月に学長に就任。考古学を基礎に人類社会の変化について研究。



オルネル=バーリン・アンナ氏
駐日ハンガリー大使

ハンガリーの首都ブダペストにあるエトヴェシュ・ロランド大学を卒業後、2010年に城西ハンガリー人材育成奨学生として城西国際大学に留学。11年に城西国際大学院国際アドミニストレーション研究科に入学。12年9月に修士号取得。23年11月に駐日大使に就任。



藤野 陽三氏
城西国際大学 学長

1976年カナダのウォータールー大学博士課程修了。Ph.D。2020年に城西国際大学学長就任。2023年から学校法人城西国際大学理事長兼任。専門は「橋に関する工学」。東京大学名誉教授、横浜国立大学名誉教授。

競争から協創へ シフトする大学

城西国際大学(開学1965年、藤野陽三学長)とその姉妹校である城西国際大学(同92年、倉林真砂斗学長)がともに教育方針の基盤に置くのは「協創力の養成」だ。文系・理系双方の学生が参加する混成講座を設けたり、海外留学生を積極的に受け入れたりするの、他者との交流を通じて問題を解決する能力を重視するため。両大学への留学経験があるオルネル・バーリン・アンナ駐日ハンガリー大使を招き、両学長が次世代を担う人材育成について語り合った。

文理融合の体験型演習を導入

藤野 城西大学の建学の理念は「学問による人間形成」です。では現代ではどのような人間形成が求められているのか。競い合って答えを早く見つけられる人間ではないと思います。いま重要なのは、決まった答えがない問題、答えが一つとは限らない問題に挑み、それを探求していくことです。それは自分一人ではできません。多様な人々の声に耳を傾け、自分の意見も主張しながら、互いを理解し尊重して新しい価値を創出する能力が必要になります。つまり「競争から協創」への転換です。私は2020年4月の学長就任以来、この「協創力」を養う教育を掲げてきました。

AI時代こそリベラルアーツ

藤野 人工知能(AI)が急速に普及しています。今後は答えのある問題はAIが効率的に処理してくれそうです。ただ、AIにはできないことも残ります。我々人間はAIの力を借りる一方で、課題を発掘し答えが一つではない問題や明確な答えがない問題に知恵を絞っていく。そういう時代が到来すると思います。こうした課題発掘には文系、理系の枠にとらわれないリベラルアーツの発想が重要です。私はリベラルアーツと「生きる力をつける学び」と理解しています。城西国際でもリベラルアーツセンターという組織を設けました。

文系学生もデータサイエンス授業

倉林 私が入学したのは10年でしたが、そのころから城西国際には異文化をオープンに受け入れてくれる「協創の精神」があったと思います。当時、私を含め5人のハンガリー人が城西国際に留学しました。学生の多くは日本人で、留学生もアジア諸国の学生がほとんどでした。それにもかかわらず教職員の方々は私たちの文化や思考を尊重して、ハンガリー人学生のアイデアにも興味を示してくれました。ハンガリーの食文化をキャンパスで紹介するイベントなども実現し、楽しい留学生活を送りました。当初は1年間の予定だった留学を延長したいと希望した際も、大学はとても親身になって協力してくれました。おかげさまで別の奨学金を利用してきょうのように、結局、城西国際大学院国際アドミニストレーション研究科で修士号を取得

できました。今日、私が駐日大使でいられるのも、この留学体験のおかげです。

藤野 大学は学生、教師、職員、地域の方々との協同体です。留学生も含めてサポートしていくのは脈々とつながる城西の伝統です。そして、最近協創力を高める授業も拡充しています。今年度から始めた「協創力体験型演習」で、1年生1400人が全員履修します。文理融合のアクティブラーニング型授業にしたのも特徴です。文系、理系という枠にとらわれない視点を養い、協創力を高めるのが狙いです。

倉林 城西国際大学でも協創力向上を重視しています。特に開学以来グローバル化のための人材育成をミッションにしていることもあり、国境を越えた協創を実現できる環境整備に努めています。現在、大学院生も含めた学生数は約6200人ですが、そのうち15%程度が外国人留学生です。さらに専任教員約230人のうち外国人教員が13%程度います。女性教員比率も3割強に達し、いずれの数字も日本の大学の全国平均をかなり上回っていると思います。多様性が新たな価値創出につながればと考えています。

城西国際大学は「つながる大学」というキャッチフレーズも掲げています。海外留学生の受け入れは海外とのパイプを太くするでしょう。薬学部がキャンパス所在地の千葉県東金市をオリーブ産地にする取り組みも大切にしています。看護学部や福祉総合学部の学生たちは国内外での実習で社会のつながりも強めています。そのうえで、私は今後、玉来へつながる大学になることが重要だと考えています。将来の自分を具体的にイメージして、今どういう力をつけるべきかを考えて学ぶ。実際、将来を見据えて各種資格取得にチャレンジしたり、語学検定に挑戦したりする学生もいます。

藤野 リベラルアーツと並ぶデータ教育の重要性が増しています。文系学生でも数字に慣れ数字を使い理論的に物事を説明する能力は必須です。城西国際大学では文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に沿ったリベラルアーツと応用基礎レベルの講座を開講しています。リベラルアーツの授業は全学生の必修科目です。例えば、実際にカウチングすることが難しい数量を手掛かりとなる数字を基に論理的に推論し概算する「フェルミ推定」の課題などを通じて数字を扱う訓練も必要です。

藤野 城西国際でも21年4月に坂戸キャンパス(埼玉県坂戸市)に数理・データサイエンスセンターを設けました。同センターは全学生向けに「データサイエンス入門」講座などを提供しています。学生は所属学科で学ぶ科目と併せて有機的にデータサイエンスの素養を身に付けられます。さらに25年4月には東京紀尾井町キャンパスにある理学部数学科を改編して情報数理学科を新設予定です。各種統計やデータサイエンス、AIなどを駆使した課題解決力を、基本となる数学的思考力から養成することを目的とした学科です。

倉林 近年、ハンガリーだけでなく欧州全域でデータ教育が重視されています。デジタルな世界では莫大なデータの取り扱いが不可欠です。大学など高等教育機関でもデータの収集、分析、保管などにかかわる訓練をしています。

藤野 城西国際大学では「SDGs×大学生」「科学史」「人類とモノづくり」といった文系理系双方の学生が履修でき、単位認定される講座を設置しています。私自身が担当している「人類とモノづくり」では、人類500万年の歴史を105分13回の講義で振り返ります。例えば蒸気機関が誕生したこと、人間の生活や思考はこう変わり、何を捨て何を失ったのかなどを考察します。過去を学ぶことで未来を読み解く力を身に付けてほしいと思います。

倉林 城西国際大学では図書館をアクティブライニングができる場に変えました。従来の図書館は静粛を求められる場所でしたが、新たな「コゼット」は資料を囲んで皆が議論し合える場です。学生の協創力向上を図る試みを今後も続けていきます。



JOSAI HUB

競争から協創へ。育ちあう大学。
城西国際大学

- 経済学部 ● 現代政経学部 ● 経営学部
- 理学部 ● 薬学部



つながる大学

城西国際大学
JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY

- 国際人文学部 ● 観光学部 ● 経営情報学部 ● メディア学部
- 薬学部 ● 福祉総合学部 ● 看護学部

